

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72100	道路橋りょう管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
	科目			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全			
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	2	道路橋りょう費	実施計画事業	分野	2	道路	H27実施計画額	千円
				目	1	道路橋りょう総務費		施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上		

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	概要	事業の実施 手法(手段)	トンネル、融雪装置の光熱費の支払いや保守点検、修繕の実施により適切に管理する。
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	融雪装置、JRアンダーパスなどの光熱水費の支払い 融雪装置保守点検 道路橋りょう等施設の保守点検 トンネル等防災設備保守点検						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)					
		目標値					
算出根拠等		実績(見込)					
		達成率(%)					
補足							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で 明らかになった課題	施設の保守点検や正常稼働に配慮する。 維持管理経費の高額なものについては、経費削減方法を検討する。 更新時期に、維持管理コストに配慮した施設選定を行う。
---------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

H25決算における 課題等に対する H26対応状況	道路利用者の安全性が担保される範囲内で、融雪装置の稼働温度やセンサーの設定変更についてデータを整理してコスト削減方法を研究する。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・市民が安全に利用できるように道路施設の維持管理を継続して適正に実施する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 63,128	72,995	68,316	99,814
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 680	793	746	1,090
	受益者 道路交通網の利用者	(B) 92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・除雪機械他維持管理車両の修繕 ・融雪装置用燃料費 ・融雪装置用電気料 ・機械器具保守点検委託	要求のポイント	事業実施の課題
			・除雪装置やトンネル等の照明を稼働させるための燃料費が高騰している。 ・維持作業を行うための車両や除雪機械の経年劣化が著しく、修繕費が増大している。 ・除雪請負業者に除雪機械を保有し維持管理していく体力がなくなっており、除雪機械の不足が予想されるため、確保が必要である。

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		68,316	99,814	31,498	68,525	68,525	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	68,313	79,145	10,832	68,525	68,525		
	一般財源	3	20,669	20,666				

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72110	急傾斜地崩壊対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	急傾斜地崩壊対策5か年整備計画	市長公約	市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。				
当課	基盤整備部 維持課			内線	2326	款		7	土木費	基本分野					5	基盤・安全	実施計画事業	急傾斜地崩壊対策事業
項目	2			道路橋りょう費	目	1		道路橋りょう総務費	分野	7					防災	施策概要	3	自然災害防止施設の充実

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	急傾斜地崩壊危険個所に居住する市民及び通過車両等	どうしたいのか(意図)	急傾斜地崩壊対策施設の整備を行い、崩土による被災から市民の生命・財産を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	・重力式擁壁・もたれ擁壁・法面工・落石防護柵等を設置する。
	対象者数	24人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	・もたれ式擁壁(H=5.0~8.0m) L=12m ・重力式擁壁(H=4.5~5.0m) L=28.6m ・落石防護柵(ロープ金網設置 H=2.0m) L=40m							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	成果指標	急傾斜地崩壊対策施設整備延長	m	目標値	72	40	50	150
				実績(見込)	72	40	50	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
目標値								
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・対策工事が必要な箇所が多く、早期に事業を進めて早期に効果を発揮させる必要があるため、今後も継続して事業費拡大を要望していく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況	・急傾斜地崩壊対策5か年計画に基づいた事業の進捗が図られるよう継続的に要望している。	
次年度の実施方針	担当課評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・急傾斜地崩壊対策5か年計画に基づく整備を進める。
	二次評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 23,851	40,056	24,000	27,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 993,792	1,669,000	1,000,000	1,125,000
	受益者	急傾斜地崩壊危険個所に居住する市民等 (B)	24	24	24

5 予算編成(Action2)

事業内容	急傾斜地崩壊対策工事(下ミセノ地区)	要求のポイント	事業実施の課題
			・県補助金の継続した予算確保

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	24,000	27,000	3,000	27,000	27,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	16,000	18,000	2,000	18,000	18,000		
	その他			0				
	一般財源	8,000	9,000	1,000	9,000	9,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72120	道路台帳管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
	種別			7	土木費	5		基盤・安全			
担当課	基盤整備部 維持課	内線	2326	項	2	道路橋りょう費	基本分野	2	道路	実施計画事業	道路台帳管理事業
				目	1	道路橋りょう総務費		施策概要	4		

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	・道路法に基づき、道路台帳を整備することで適切な道路の維持管理に寄与する。 ・未登記路線を整理し、市道の適正な管理を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	・道路整備完了箇所や占有物変更箇所を台帳に反映して、正確な道路台帳を整備し活用する。 ・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	・道路台帳の更新 ・未登記路線の調査、分筆測量等						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	道路台帳更新路線数	本	目標値	170	170	170	170
			実績(見込)	134	166	170	
算出根拠等			達成率(%)	79	98	100	
活動指標	市道未登記処理委託路線数	本	目標値	5	13	38	18
			実績(見込)	5	13	38	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・未登記路線が早期に解消できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況	・道路を維持管理するためには必要であり、道路法で設置が定められていることから継続して実施する。 ・未登記路線が早期に解消できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・道路を維持管理するためには必要であり、道路法で設置が定められていることから継続して実施する。 ・未登記路線が早期に解消できるよう、引き続き積極的に取り組んでいく。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	62,326	73,351	80,500	84,540
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	671	796	879	923
	受益者	全市民及び市道通過車両	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・本庁及び各支所管内の道路台帳の補正 ・市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	・市道未登記用地の処理業務委託	事業 実施の 課題	・地権者の権利関係等が複雑となり、処理に時間を要する。
------	---	-------------	-----------------	-----------------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	80,500	84,540	4,040	66,000	66,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	40	40	0	40	40		
	一般財源	80,460	84,500	4,040	65,960	65,960		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72200	道路橋りょう維持修繕事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	地域道路再生整備5か年計画	市長公約	市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。	
				款	7	土木費		基本分野	5		基盤・安全			
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	2	道路橋りょう費	分野	2	道路	実施計画事業	道路橋りょう維持修繕事業			
			2326	目	2	道路橋りょう維持費	施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上	H27実施計画額		千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民及び市道通過車両	どうしたいのか(意図)	道路の走行性及び安全性の維持・向上を図り、安心して快適な道路網を確立する。	概要	事業の実施手法(手段)	側溝、舗装、橋りょう等の道路施設の経常的な維持修繕を実施する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕等 工事契約件数 N=343件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	道路修繕工事の契約件数	件	目標値				
				実績(見込)	158	122	113	
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	側溝修繕工事の契約件数	件	目標値				
				実績(見込)	163	109	92	
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	舗装修繕工事の契約件数	件	目標値				
				実績(見込)	107	101	101	
	算出根拠等			達成率(%)				
	活動指標	橋りょう修繕工事の契約件数	件	目標値				
				実績(見込)	10	11	9	
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・町内要望等を受けての対処法的な修繕に加え、コスト削減や効率的な維持管理の観点から、予防保全的な修繕も計画的に進めていく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況	・地域生活道路再生事業5か年計画に基づいた計画的な修繕を進めている。 ・町内要望については、データベース化により、緊急度、事業費、実施期間等の管理を行っている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き、道路施設の修繕を行うことで、道路走行の安全性を確保し、安心して快適な道路網を維持する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・コスト削減や効率的な維持管理の観点から、中長期的な修繕の整備基準を確立する必要がある。 ・協働のまちづくりの枠組みのなかで、地域の選択により緊急性の高いものから迅速に対応する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,054,262	1,107,128	423,000	665,700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	11,353	12,021	4,618	7,267
	受益者	全市民及び市道通過車両	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	要求のポイント	事業実施の課題
・老朽化等による破損の著しい箇所の道路、側溝、舗装、橋りょう等の修繕 ・延長の長い路線や精度を必要とする工事の測量設計委託		

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	423,000	665,700	242,700	463,000	463,000	・要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金		102,850	102,850	22,000	22,000		
県支出金			0				
その他	6,000	5,000	△ 1,000	6,000	6,000		
一般財源	417,000	557,850	140,850	431,850	431,850		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72210	道路清掃事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
	種別			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全			
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	2	道路橋りょう費	実施計画事業	分野	2	道路	H27実施計画額	千円
	2322	目		2	道路橋りょう維持費	施策概要		4	生活に身近な道路の環境の向上			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	・道路清掃や草刈りを行うことによって、道路環境の保全や景観向上及び安全の確保を行う。 ・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客等の通行の安全確保を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・道路上の粉塵、ごみの除去及び草刈り、側溝の清掃を実施する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	・道路清掃、草刈り等の実施							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	道路清掃延長	km	目標値	17	17	17	17	
活動指標	算出根拠等			実績(見込)	14	13	13	
				達成率(%)	82	76	76	
活動指標	道路草刈り延長		km	目標値	48	48	48	49
	算出根拠等			実績(見込)	48	48	48	
成果面				達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等			目標値				
成果面				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
成果面				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
成果面				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
成果面				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

H25決算における 課題等に対する H26対応状況	・道路の安全確保や維持管理、景観保全のために継続して実施する。 ・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努める。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大	・道路の安全確保や維持管理、景観保全のために継続して実施する。
	縮小	
○ 維持・改善 拡大	(担当課評価に同じ)	
縮小		
○ 維持・改善 縮小		
○ 維持・改善 廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,460	5,639	5,900	6,820
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 59	61	64	74
受益者	道路交通網の利用者	(B) 92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・道路粉塵清掃、草刈り、側溝清掃	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・高齢化や過疎化により、これまで地域で行われてきた草刈りや清掃作業が困難となり、延長が増加する恐れがある。
------	------------------	-------------	-----------------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	5,900	6,820	920	6,000	6,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,900	6,820	920	6,000	6,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72400	交通安全対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約		
				款	7	土木費		基本分野	5	基盤・安全				
担当課				項	2	道路橋りょう費		分野	8	安全			実施計画事業	交通安全対策事業
				目	4	交通安全対策費		施策概要	1	交通事故の防止			H27実施計画額	千円
		内線	2322											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	交通安全事故の危険性がある箇所に交通安全施設を設置し、適正な維持管理を行って、安全性の向上並びに事故防止を図る。	概要	事業の実手法(手段)	道路反射鏡・ガードレール・道路照明・道路区画線等の新設や修繕を行う。 交通安全施設等の適正な維持管理を行う。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	・ガードレール設置、修繕 L= 1,579m(新設 222m) ・道路反射鏡設置、修繕 N= 21基(新設 15基) ・区画線設置、修繕 L= 5,7437m(新設 27m) ・道路照明灯設置、修繕 N= 271基(新設 3基)						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	ガードレール設置	m	目標値	1,164	811	810	678
		実績(見込)			119	222	100	
	算出根拠等			達成率(%)	10	27	12	
	活動指標	道路反射鏡設置	基	目標値	35	34	39	55
		実績(見込)			27	15	20	
	算出根拠等			達成率(%)	77	44	51	
	活動指標	道路照明灯のLED化	基	目標値	5	165	25	25
		実績(見込)			2	274	65	
	算出根拠等			達成率(%)	40	166	260	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・最大限の効果を発揮する交通安全施設の選定を行う。 ・維持管理に配慮して施設選定を行う。 ・維持管理や環境に配慮した資材や工法の選定による、維持管理経費の抑制を図る。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況	・道路照明の省電力化のため、照明灯のLED化を実施し、ランニングコストの縮減を図る。 ・道路照明として必要な照明灯以外は、所管変更を行う。										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">○ 維持・改善</td> <td>拡大</td> <td rowspan="3">交通安全施設や道路照明の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境にも配慮した資材・工法の検討を行なって事業を推進する。 引き続き、交通安全施設の適正な管理及び管理経費の節減に努める。</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○ 維持・改善</td> <td>拡大</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	○ 維持・改善	拡大	交通安全施設や道路照明の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境にも配慮した資材・工法の検討を行なって事業を推進する。 引き続き、交通安全施設の適正な管理及び管理経費の節減に努める。	縮小	廃止検討	○ 維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)	縮小	廃止検討
○ 維持・改善	拡大		交通安全施設や道路照明の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境にも配慮した資材・工法の検討を行なって事業を推進する。 引き続き、交通安全施設の適正な管理及び管理経費の節減に努める。								
	縮小										
	廃止検討										
○ 維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)									
	縮小										
	廃止検討										

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	33,814	56,600	36,656	69,107
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	364	615	400	754
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・事故防止のため、ガードレール、道路反射鏡等の交通安全施設を設置する。 ・交通安全施設(交差点照明、点滅鏡、地下道照明)等の維持管理	要求のポイント	・道路照明の省電力化のため照明灯のLED化を実施し、ランニングコストの縮減を図る。	事業実施の課題	・ランニングコストや環境にも配慮した資材、工法の検討が必要である。 ・交通安全対策に関係する他部局(警察、市民活動推進課、教育委員会、各道路管理者等)との連携を図る必要がある。 ・交通安全対策の効果が高めるため、高齢者や通学児童等への安全指導を行うなど、ソフト面での対策が必要である。
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	36,656	69,107	32,451	36,696	36,696	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金		12,650	12,650				
	県支出金			0				
	その他	25	25	0	18	18		
	一般財源	36,631	56,432	19,801	36,678	36,678		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72410	バリアフリー対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	道路施設バリアフリー整備5か年計画	市長公約
種別				款	7	土木費		基本分野	5	基盤・安全		実施計画事業	
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	2	道路橋りょう費	分野	2	道路	H27実施計画額	千円		
			2326	目	4	交通安全対策費	施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	歩行者が安全で快適に利用できる環境づくりに向け、ユニバーサルデザインの観点から道路施設のバリアフリー化を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	道路施設バリアフリー化整備(既設側溝改修・蓋設置並びに路肩部のカラー舗装、歩道段差解消、グレーチング蓋の細目化)歩行者移動支援施設整備(融雪ブロック+知らせるあかり、知らせるあかりソーラー)
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	歩行空間整備(バリアフリー) L=723m 歩行者移動支援施設整備(知らせるあかり) N=19箇所						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	歩行空間整備(バリアフリー)	m	目標値	865	863	644	620
活動指標	算出根拠等		実績(見込)	543	723	622	
	歩行者移動支援施設整備(知らせるあかり)	交差点	達成率(%)	63	84	97	
成果面	算出根拠等		目標値	4	4	0	0
	歩行者移動支援施設整備(知らせるあかり)		実績(見込)	4	4	0	
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・維持管理や環境に配慮した工法や資材の検討を行い、コスト縮減に取り組む。
-----------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況	・維持管理や環境に配慮した工法や資材の選定を行い、更なる費用対効果の向上に努める。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ・道路施設バリアフリーの次期5か年計画を策定し、計画に基づく整備を進める。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ・今後の整備方針を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	169,807	134,078	118,000	150,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,829	1,456	1,288	1,637
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・道路施設バリアフリー化整備(歩行空間の確保)	要求のポイント	事業実施の課題
			・工法や資材の比較検討によるインシヤルコストやランニングコストの縮減が必要である。

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方	
歳出(千円)	118,000	150,000	32,000	112,000	112,000	・事業内容を精査	・財務部査定のとおり	
財源内訳	国庫支出金	44,000	69,850	25,850	50,600			50,600
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	74,000	80,150	6,150	61,400			61,400

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72420	臨時駐車場対策事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
	科目			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全		
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	2	道路橋りょう費	分野	2	道路	実施計画事業	臨時駐車場対策事業
				目	4	交通安全対策費		施策概要	5		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	・高山祭やゴールデンウィーク、お盆の期間の臨時駐車場の開設等により、市内の渋滞緩和を図り、観光客の利便性を向上させる。	概要	事業の実施手法(手段)	・臨時駐車場の開設、交通誘導員の配置、案内看板の設置、駐車場から観光客を運ぶシャトルバスの運行
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・ゴールデンウィーク、お盆、春・秋の高山祭に、交通渋滞対策本部を設置した。 ・臨時駐車場は、春・秋の高山祭とゴールデンウィーク期間中に開設したが、お盆は開設までの混雑には至らなかった。						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	臨時駐車場開設	箇所	目標値	13	13	11	11
		実績(見込)		4	8	8		
	算出根拠等		達成率(%)	31	62	73		
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
		達成率(%)						
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・臨時駐車場開設場所や交通誘導員の配置箇所等の検討 ・シャトルバスの効果的・効率的な運行によるコスト削減
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況		・市中心部への大型バスの進入について、駐車場案内システムの利用や細やかな連絡体制の確立により収容能力を超えない台数で制御して、渋滞発生を抑制する。 ・高山インターからの交通量増加に適切した駐車場案内看板の設置や、FM放送等によるリアルタイムでの情報発信を行うことにより、効果的な運営を行う。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・これまでに蓄積されたデータや駐車場案内システム、FM放送、インターネットを活用して、効果的な臨時駐車場開設業務を継続して実施する。
	○ 維持・改善	
二次評価	拡大 縮小 廃止検討	・臨時駐車場開設時間やシャトルバスの台数など、効果的・効率的な運営方法を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	19,074	36,313	19,670	25,133
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	205	394	215	274
	受益者	道路交通網の利用者	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・臨時駐車場の開設(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆、シルバーウィーク)年5回 ・交通誘導業務委託(市営駐車場、主要交差点等)計50日	要求のポイント	・連休等の交通誘導業務の対象箇所の増	事業実施の課題	・確保する臨時駐車場の適当な台数規模について、国内外の観光客の動向や曜日による増減などがあり判断が難しいため、観光部局の協力を得ながら検討する必要がある。
------	--	---------	--------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	19,670	25,133	5,463	19,670	19,670	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	19,670	25,133	5,463	19,670	19,670		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72500	除雪対策事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	除雪計画	市長公約				
	課			7	土木費	5		基盤・安全	除雪計画							
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	2	道路橋りょう費	分野	2	道路	実施計画事業	除雪対策事業	千円				
	2322	目		5	除雪対策費	H27実施計画額										
<table border="1"> <tr> <td>総合計画</td> <td>施策概要</td> <td>6</td> <td>官民協働による除雪の推進</td> </tr> </table>													総合計画	施策概要	6	官民協働による除雪の推進
総合計画	施策概要	6	官民協働による除雪の推進													

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	誰もが安心、安全な暮らしを守るため、冬期間の道路除雪及び除雪補充作業による交通確保を行う。 高齢者や女性でも無理なく安全に利用でき、地域住民が協働で雪まじじに取り組める環境の整備を図る。 除雪計画の周知を図り、除雪に対する市民の協力等が得られるようにする。	概要	事業の実施 手法(手段)	・委託業務による除雪作業の実施 ・凍結による事故防止のための薬剤購入 ・消融雪側溝の整備 ・除雪計画書を町内会に配布する
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	・除雪延長 車道 937km、歩道 69km 合計 1,006km ・除雪機購入補助台数 2台 ・消融雪側溝整備(市道名田2号線) L=243m ・町内会等に除雪計画書を配布						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	除雪延長	km	目標値	1,006	1,006	1,005	1,009
			実績(見込)	1,005	1,006	1,008	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
活動指標	消融雪側溝整備延長	m	目標値	390	320	400	300
			実績(見込)	396	243	400	
算出根拠等			達成率(%)	102	76	100	
活動指標	除雪計画書配布部数	部	目標値	400	400	400	400
			実績(見込)	400	400	400	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果面			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市の除雪方法を、冬期を迎える前より早期に市民に周知する。 ・除雪業者の確保や除雪路線を検討し、効果的な除雪を実施する。 ・消融雪側溝整備は特殊構造で設置部品等が比較的高額であるため、既設水路を利用可能な箇所は消融雪側溝メーカーの部品を利用した簡易消融雪側溝とすることでコストの縮減を図る。
---------------------	---

4 今後の方向性 (Action)

H25決算における 課題等に対する H26対応状況	・町内会を通じて、除雪基準や方法を周知する。 ・協働のまちづくりの枠組みの中において、今後地域で行う除雪の方法等について検討する。 ・既設水路を利用可能な箇所は消融雪側溝メーカーの部品を利用した簡易消融雪側溝とすることでコストの縮減を図る。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・冬期における市民生活の安全確保並びに雪まじじの負担軽減のため、除雪事業を引き続き実施する。 ・除雪計画の周知徹底、除雪に対する市民の協力等と呼び掛けるためにも継続して実施する。 ・消融雪側溝の機能を最大限に発揮させるため5か年計画に基づき事業推進を図る。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・消融雪側溝については、工法や資材の比較検討によるコスト縮減に引き続き取り組む必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 523,303	544,424	561,300	549,926
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 5,635	5,911	6,127	6,003
	受益者	道路交通網の利用者 (B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・道路及び歩道の除雪委託 ・除雪計画書の作成等 ・消融雪側溝の整備	要求の ポイント	・融雪剤の効果等やコスト縮減に配慮した資材選定	事業 実施 の 課題	・除雪業者の確保や除雪路線を検討し、効果的な除雪を実施する。 ・工法や資材の比較検討によるコスト縮減に取り組む。
------	---	-------------	-------------------------	---------------------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		561,300	549,926	△ 11,374	556,200	556,200	・近年の降雪状況を考慮し、必要な除雪費を確保	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金	53,500	46,900	△ 6,600	45,800	45,800		
	県支出金	3,000	4,000	1,000	3,000	3,000		
	その他			0				
	一般財源	504,800	499,026	△ 5,774	507,400	507,400		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	73100	河川清掃事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	市長公約
	款			7	土木費	基本分野		2	環境・景観			
	項			3	河川費	分野		1	地球環境			
	目			1	河川維持費	施策概要		1	自然環境の保全と活用			
担当課	基盤整備部 維持課		内線	2322			実施計画事業	河川清掃事業		H27実施計画額	千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 河川堤防の除草を実施して、河川環境を保全する。 河川内のごみの清掃や雨水排水暗渠等の土砂清掃を行い、排水機能を確保して水環境を保全する。 市街地周辺の河川清掃を行うことにより、市民のみならず観光客にも良好な河川環境を提供し、高山市のイメージ向上を図る。 河川や水路の管理事務を適正に実施して、速やかな雨水の排水及び良好な水環境を保全する。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 1級河川の堤防除草作業を地元団体に委託する。 河川内のごみ収集運搬、暗渠の土砂清掃を専門業者に委託 河川を美しくする会に委託して、市街地河川の清掃作業を実施する。 水門管理者による適正な水門管理を実施する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 河川堤防除草実施面積 338,000㎡ 河川清掃時に発生するごみの収集 暗渠排水の通水機能確保 水門管理者による水門管理の実施 						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	河川堤防除草実施面積	㎡	目標値	338,000	338,000	338,000	338,000
			実績(見込)	338,000	338,000	338,000	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
活動指標	ごみ収集回数(除草収集)	回	目標値	4	4	4	4
			実績(見込)	4	4	4	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
活動指標	河川清掃回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績(見込)	4	4	4	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果面			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の多い市街地周辺の河川の環境保全と、高山市のイメージアップを図るために、地元団体と協働し継続して実施する。 河川等の自然環境を保全し、側溝や水路の機能を確保するために継続して実施する。 現在、市が管理している水門のうち、地元での管理が望ましいものについては、移行に向けた調査、検討を行う。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	19,303	21,307	22,140	23,837
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	202	225	235	260
	受益者	全市民	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 1級河川の堤防除草 河川周辺のごみや刈草等の収集運搬 用排水路の土砂撤去 市街地河川清掃の地域住民で構成される河川を美しくする会への委託 市街地河川の川底清掃の専門業者への委託 水門管理者に対する謝礼 	要求のポイント	事業実施の課題
------	---	---------	---------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	22,140	24,538	2,398	23,840	23,840	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	15,800	17,423	1,623	17,500	17,500		
その他	640	701	61	6,340	6,340		
一般財源	5,700	5,713	13				

平成27年度 事業別予算概要

事業名	73120	普通河川整備事業費	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約	市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
種別			款	7	土木費		基本分野	5	基盤・安全			
担当課	基盤整備部 維持課		内線	3	河川費		分野	7	防災			
			目	1	河川維持費		施策概要	3	自然災害防止施設の充実	H27実施計画額	千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	普通河川周囲の良質な生活環境の確保と、豪雨等による災害を防止するため、護岸や河床の整備を実施し、市民の安全と財産を守る。	概要	事業の実施 手法(手段)	雨水排水等による普通河川の溢水箇所の整備を行い、環境保全を図る。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	河川整備工事 契約件数 N=60件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	河川整備工事の契約件数	件	目標値				
				実績(見込)	54	60	30	
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・老朽化、断面不足等の普通河川を計画的に整備を進める必要がある。
---------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

H25決算における 課題等に対する H26対応状況	・対象箇所の優先度を決め、それに基づき計画的に整備を行っている。
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ・引き続き、普通河川の整備を実施する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	97,331	172,484	70,000	203,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,048	1,873	764	2,218
	受益者 全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・普通河川の老朽化や断面不足に伴う整備	要求の ポイント	・普通河川の護岸や河床等の整備を実施して、河川周囲の生活環境の保全と豪雨等による災害の防止を図る	事業 実施の 課題
------	---------------------	-------------	--	-----------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	70,000	203,200	133,200	100,000	100,000	・要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金		24,000	24,000	23,000	23,000		
その他			0				
一般財源	70,000	179,200	109,200	77,000	77,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	74800	駐車場管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	駐車場整備計画	市長公約
				款	7	土木費		基本分野	5	基盤・安全			
担当課	基盤整備部 維持課		内線	項	4	都市計画費		分野	2	道路	実施計画事業	駐車場管理事業	
			2322	目	8	駐車場管理費		施策概要	5	道路利用の快適性向上	H27実施計画額		千円

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民及び観光客	どうしたいのか (意図)	概要	事業の実手法(手段)	指定管理者による駐車場の運営 ・計画的な機器類の改修・更新工事の実施
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	・市営かじ橋駐車場バズルタワー改修工事 ・市営花岡駐車場トイレ改修工事、他							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	駐車場管理運営箇所数	箇所	目標値	9	9	9	9
				実績(見込)	9	9	9	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

H25決算における課題等に対するH26対応状況	・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上のために継続して駐車場管理業務を実施する。 ・駐車場整備計画の見直しや交通規制の検討とあわせて、今後の市営駐車場のあり方や方向性について検討する。
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
コスト面	・市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上のために継続して駐車場管理業務を実施する。 ・引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	33,170	24,865	21,222	54,640
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	357	270	232	596
受益者	全市民及び観光客	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・市営駐車場(9箇所)の適正な管理運営	要求のポイント	・かじ橋駐車場機械部品の交換、改修	事業実施の課題	・駐車場舗装の経年劣化が進んでおり、今後大規模な舗装修繕工事が必要となる。 ・バリアフリー化が進んでいない駐車場について、整備を検討する必要がある。
------	---------------------	---------	-------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	21,222	54,640	33,418	25,386	25,386	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	21,222	36,703	15,481	25,386	25,386		
	一般財源		17,937	17,937				